

# 農作物には農薬が残っているのか

8月14日 くもい



家族みんなで、おじいちゃんの住んでいる田舎に遊びに来ています。

今日は、おじいちゃんの畑から、野菜をたくさん収穫しました。

僕は夏休みの宿題に、その野菜の絵を描きました。

夕方になって、お母さんとおはさんと一緒に、

その野菜を使って夕食をつくりました。

これたこの野菜はおいしかったよ。



サラダつくるの手伝ってちょうだい。

はい。



おじいちゃんの野菜は安心だけど、いつも買っている野菜には農薬が残っているのかしら？

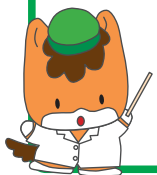


私たちがスーパーマーケットなどで買う野菜や果物には心配するような量の農薬は残っていないと考えてよいでしょう。

もともと、**農薬の使用時期、使用量、使用回数などの使用方法は、食品衛生法に基づく残留農薬基準を超えることのないよう定められています。**(付録p64)

そのため、農薬は使用方法を遵守して使用すれば、自ずと安全性が確保される仕組みになっています。

また、18年5月29日からは全ての農産物等について、残留農薬が規制(ポジティブリスト制度)され、日常生活では、さらに安全性が確保されます。



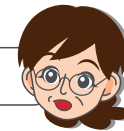
でも、最近、新聞で残留農薬が検出されたっていう記事を読んだわ。

確かに、基準値以上の農薬が検出されたという記事がありましたね。これは農薬が適正に使用されていなかったことが原因ではないかと考えられます。



そうすると、使用する人の問題ということになるわね～。

農家の指導はきちんとされているんですか。



自治体や農業団体では、生産者が、安全な農産物を生産するために、農薬の適正な使用について指導を行っています。また、研修会を開いたり、パンフレットの配布もしています。



(パンフレット)



## ワンポイント ● 農薬の残留性

農薬によって使い方などが異なるので、いつまで残留するかは様々です。一般的に作物に付着した農薬は急速に減少し、その多くは3～10日間で半以下になります。その後も土、光や風雨で分解され、減少していきます。

(附録p73)

## 用語解説

●食品衛生法… 食品の安全性の確保のために公衆衛生の見地から必要な規制などを講ずることにより、飲食に起因する衛生上の危害の発生を防止し、もって国民の健康の保護を図ることを目的とする法律です。